



町長 荒木 輝明

令和7年度

様似町 施政方針

今年度のまちづくりの方針が、3月の町議会定例会で示され、7つの大きな取り組み方針を軸に今年度のまちづくりの方向性について荒木町長より表明がされました。

町

民の皆さまからの負託により町政執行の任務を与えられ、今期の最終年に入っております。本町を取り巻くさまざまな情勢を踏まえ、多種多様なニーズに応えられる行政サービスを提供していくためには、住民生活や事業活動をしっかりと支え、町民の皆さまとともに協働してまちづくりを進めていかなければなりません。過疎化・少子高齢化が進む中、様似町の将来を見据え、今できること、今すべきことを見極め、そして私が掲げる「町民がしあわせと感じられるまちづくり」の実現に向けて、町民の皆さまからご意見を伺いながら、行政運営に努めていきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

推進体制の 確立のために

財政状況と 人材の確保・育成

長期的な財政見通しをしつつ、持ちこたえを前提としながら、事業推進のための国等の補助・交付金の活用やふるさと納税などの自主財源の拡充に積極的な取り組みとともに、経費効率化のためのスクラップ＆ビルドを不断なく進めていきます。また、施策推進の要となる人材確保と育成については、働きやすい職場環境づくりを進め、人口減にあってもまちに必要な施策を着実に展開できる推進体制の維持・強化に努めます。

コミュニティ活動

自治会（町内会）の自主的な活動を促進するとともに、自治会長会議や町政懇談会など、地域住民との対話の機会を増やし、積極的な自治会活動を通して住民主体のまちづくりを推進します。

ふるさと納税

返礼品の開発等に取り組むとともに、リピーターの増加、効果的なPR活動の展開を図り、さらなる増収を目指します。

情報共有体制の推進

「広報さまに」、「広報さまに・おしらせ版」の発行や登録制メールの配信、町のホームページの他に新しく開設したLINEやX（旧ツイッター）など、

住みよい環境を つくるために

日高山脈襟裳十勝 国立公園の誕生

日高山脈襟裳国定公園及びその周辺地域が、国立公園として新たに指定されました。国立公園は国内外への発信力が強くなると期待されることから、国立公園の玄関口の一つとして機会を逃さず整備・誘客を進めるほか、広域連携の中でPRと事業展開を進めます。

公営住宅

公営住宅等長寿命化計画に基づき、引き続き栄町団地建替え事業を行い、良好な移住環境づくりを行います。

空き家対策

空き家対策法に基づく除去等の働きかけや入居可能な空き家等の利活用を促進するため、空き家・空き地バンクへの登録を積極的に促し、希望者とのマッチングに努めるとともに、移住・定住対策を進め、地域の活性化へとつなげます。

水道事業

中長期的な視点に立った水道施設の更新と財源確保を実現するため、今年度は栄町水源ポンプ室取水ポンプ配管更新工事を行います。また、関連する各水

道施設についても計画的な改修と更新を進め、将来にわたって安心・安全な供給体制を確立するよう努めます。

下水道事業

施設の老朽化が進む中、持続可能な下水道事業の実施を図るため、今年度は終末処理場電気設備更新工事を行います。



自治会避難訓練

安全な生活を おくるために

防災体制の整備

今年度においては、3か年計画として進めてきた備蓄庫整備を完了させるとともに、自治会等と連携しながら引き続き防災訓練等を実施します。また、現在着工中の新消防庁舎の隣接地に建設する避難施設を、災害対処と避難受入機能を合わせた防災センターとして一体運用するとともに、幼児センター・デイサービスセンターに津波救命艇を新たに設置することで、乳幼児及び要援護高齢者の避難対策を講じます。

地域防災力の強化

地域防災力の中核になる消防団の充実を図るため、今年度よりドローン操縦に特化した機能別消防団員制度を導入するとともに、各種訓練を通じて消防団員の結束力を深め、地域の総合的な防災力の強化に努めます。

消防庁舎の移転改築

令和8年5月末の完成を目指して着工中ですが、庁舎には簡易司令システムを導入し、システムに合わせた消防救急デジタル無線設備の更新も図ります。また、併設する消防エネルギーセンターにおいては、地域資源である木材を暖房燃料として活用し、地域経済の循環や二酸化炭素削減と脱炭素化を目指します。

健康で幸せな 生活をおくるために

新型コロナウイルスと ワクチン接種

新型コロナウイルス及びインフルエンザワクチン接種費用については、18歳までの子どもに対しての全額助成、65歳以上の高齢者の一部助成及び低所得者への全額助成を行います。また、法改正により、今年度から高齢者の带状疱疹のワクチン接種が定期接種となり、本町でも医療機関と連携して接種体制を整え助成を行います。

母子保健対策

妊産婦健康診査や周産期医療通院費などの助成事業を継続します。不妊治療助成費については、希望者が望む医療を受けられるよう、北海道の助成事業を拡大し、治療費や交通費の助成を行います。また、妊娠時から出産・子育てまで継続的な相談支援を行い、近隣町や関係機関と連携を図っての短期間の預かりサービスやメール等で専

門家に医療等の相談ができるサービスの導入など、子育て支援を強化します。

保健福祉センター

今年度から2か年かけて改修工事を行い、さまにデイサービスセンターの利用者や介護予防事業などの参加者が、快適に過ごせるよう整備します。また、デイサービスセンターの入浴機材の更新を行います。

地域福祉の体制

利用者やその家族に寄り添い、人材不足の状況でも必要な福祉サービスが適切に提供できるよう協議を進めるとともに、高齢者や障がい者を対象とした「さまにシルバー券」の交付を継続し、生活の利便性向上を図ります。

新婚世帯への支援

子育て世帯の負担軽減

新婚世帯の住宅取得や引っ越しなど新生活に係わる経済的不安の軽減を図り、少子化対策の推進に資することを目的とした「結婚新生活支援事業・結婚祝金支給事業」を新たに実施しま

心豊かな人間性を 養うために

教育行政の推進

第2次教育大綱の最終年度を迎え、さまざまな教育課題に取り組むとともに、将来の予測が困難な時代と言われる現代において、求められている持続可能な社会の創り手の育成に向けて、本町にあつた教育施策を推進します。

中学校地域参観日



豊かな暮らしを 生み出すために

農業

経営所得安定対策制度や国が全額補助している新規就農者育成総合対策制度の活用により、農家所得の安定と青年就農者への支援を続けます。また、農業振興に関する地域おこし協力隊を広く募集し、労働力確保や後継者確保対策に関する情報発信などを進めます。

稲作

特別栽培米「アポイ米」の地場産での消費拡大に向けた取組としてスクールランチやふるさと納税での活用などを促進していきます。



田植え

稲刈り

林業

森林経営計画に基づく造林や保育、間伐などの森林施策を実施し、豊かな森づくりに取り組むとともに、地球温暖化対策・脱炭素社会に貢献できるよう適切な森林整備に努めます。令和9年度完成予定の浜平宇幹線の林道整備も継続して進めます。

獣害対策

猟友会の理解と協力をいただく中で、近年の燃料代高騰などを考慮し、報償金の増額をするなど適切な駆除対策を進めるとともに、ハンター免許取得助成を継続し、担い手の確保に努めます。

水産業

赤潮対策緊急支援事業による支援やツブ貝・ウニの増殖支援事業を継続するとともに、例年実施している沿岸漁場の保全事業や稚海藻駆除事業なども継続します。また、日高中央漁業協同組合が令和8年度まで類似漁港内で整備を進めている製氷冷蔵施設整備事業への支援も引き続き行います。



木育事業

後継者・労働者不足

各産業従事者の意向や現状について、より深く把握・分析し、関係団体とともに様々な手段を検討・実施していきます。

商業

物価高騰などで非常に厳しい状況の中、事業者が安心して経営ができるよう、関係機関と連携し対応を進めるとともに、商業活性化のために活動する地域おこし協力隊を募集するほか、プレミアム付き商品券の発行や歳末大売り出しなどの消費喚起事業について支援します。

交流促進施設「アポイ山荘」

今年度から新たな指定管理者により管理運営していくことに

なりました。町民の健康・福祉と来客を迎える場として、指定管理者と協力しながら適切な管理運営に努めます。

観光

国立公園化を契機として取り組んだ新たな体験プログラムや特産品の開発を活用し、まち全体として来訪者が滞在・周遊できる拠点施設の設置に向けた取組を検討していきます。



HIDAKA TRAIL DAYS

発展の 基盤づくりのために

町道の維持管理

道路舗装補修や道路法面整備など5路線の整備を実施する

移住・交流の促進

「関係人口」を創出するきっかけとして、SNSやふるさと納税等を活用した情報発信を行うとともに、移住体験住宅事業やリモートワーク・ワーケーションのモニター事業を実施します。また、地域おこし協力隊制度の積極的な活用や各種移住相談イベントの参加、オンライン移住相談等を実施することにより移住者や関係人口の増加を目指します。

土地利用の推進

ほか、道路施設の老朽化対策として西様似駅前橋補修工事を行い、橋梁の長寿命化に取り組めます。また、災害発生時における主要道路の通行止めに対応、国や北海道、近隣町と連携を図り、緊急時の避難道路・代替え道路の確保に努めます。

令和7年度 教育行政 執行方針



教育長 秋山 寛幸

幼児教育および 保育の推進

さまざまな体験活動

子どもたちの五感を刺激し、四季を通じて様々の自然に親しむ「ジオ学習」の展開や、地場産業に触れ、自ら体験する機会を設けるなど、そこに携わる地域のかたがたの協力をいただきながら、豊かな心と郷土愛を育んでいきます。

学校教育の推進

学力の向上

学力や学習状況の把握・分析をもとに、組織的な学習指導の工夫・改善に努め、特に課題の見られる児童生徒の基礎学力の定着を図るための取組を一層推進するとともに、学校と家庭が連携した家庭学習の習慣化に取り組めます。

いじめ・不登校対応

道徳教育を通じて、望ましい人間関係を築く力を育むとともに、「いじめ見逃しゼロ」の視点でのいじめの積極的な認知と各学校の組織的な対応の徹底を行います。不登校児童生徒には、スクールカウンセラーと学

中央公民館の大規模改修

昭和51年にオープンし、町民にとって身近な学習拠点であり交流の場である中央公民館は、平成10年に大規模改修を実施しましたが、今後も施設を長寿命化し有効活用するため、2回目の大規模改修の実施に向け、施設の現状調査を行い改修の基本設計を実施します。

図書館活動の推進

図書館の大規模改修

平成4年のオープンから32年余りが経過し、老朽化や更新時期を迎えていることから、施設を長寿命化し有効活用するため、大規模改修の実設計に取り組めます。

スポーツの推進

スポーツ施設

適切な維持管理と利便性の向上に努めるとともに、スポーツセンターは施設の今後のあり方について、利用者の要望を踏まえ、その方向性を早急に検討します。



学校支援ボランティア